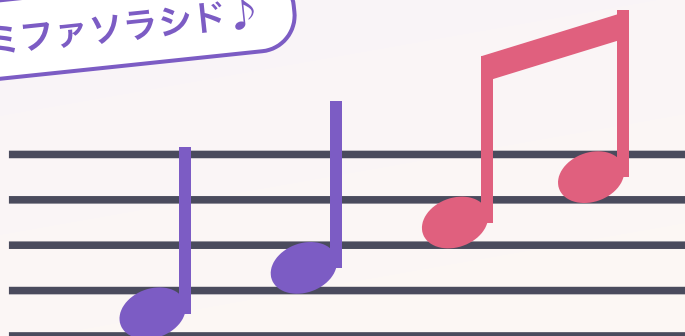


ドレミファソラシド♪



ドはどこ？

ドレミを覚えよう

ドから始まる、音の名前をおぼえよう



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょう。

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

ドレミってなに	3～4
上がる・とぶ・きより	5～7
ドレミを使う	8～11
オクターブと発展	12～15
ドレミをきわめる	16～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

ドレミは、音の高さにつけられた名前です。

「高い・低い」だけでなく、「ド」「レ」「ミ」と名前と呼べると、音の高さを人に正確に伝えられるようになります。



- ドレミファソラシドは、世界中の音楽教育で広く使われている音の名前です。
- 名前がつくと、メロディを言葉として覚えたり、伝えたりしやすくなります。

1. 「ドレミファソラシド」を、知っているところまで声に出してみよう。

ドレミファソラシド・歌ってみよう

8つの音の名前を、順番に覚えよう。

ドからドまで



ド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シ・高いド、の8つで1つのまとまりです。

ポイント

- 最初の「ド」と最後の「高いド」は、名前は同じでも高さがちがいます。
- 8つの音を順番に並べたものを「音階（おんかい）」とよびます。

やってみよう

1. 「ドレミファソラシド」を、声に出して3回歌ってみよう。
2. こんどは「ドシラソファミレド」と、下がりながら歌ってみよう。

書いて覚えよう

ドレミは、上がったたり下がったりします。

ポイント

- やってみよう

- ## 書いて覚えよう

音と音の間の距離にも、種類があります。

whole tone

ドとレのような、少し広い間かく

semitone

ミとファ、シとドのようなせまい間かく

- ドレミファソラシドの中で、ミとファ、シとドの間だけは半音でせまくなっています。
- 鍵盤で見ると、ミとファ、シとドの間には黒い鍵がありません。

1. 鍵盤の絵や実物があれば、ミとファの間をさわってたしかめてみよう。

手の高さで、ドレミを表してみよう。

7

ドレミで知っている曲を歌う

知っている曲を、ドレミで歌ってみよう。

ポイント

- 童謡やわらべうたには、ドレミだけでできている曲もたくさんあります。
- 歌詞のかわりにドレミで歌うと、メロディの動きがよくわかります。

Emma

「ちょうちょう」をドレミで歌ってみたよ。



Ken

ソミミ・ファレレ……って感じかな。おもしろいね！

やってみよう

1. 知っている童謡を1曲、歌詞のかわりにドレミで歌ってみよう。

書いて覚えよう

楽器でも、ドレミをたしかめてみよう。

- 鍵盤ハーモニカやピアノがあれば、実際にドレミをひいてたしかめられます。
- 楽器がなくても、コップの水の量を変えてたたくと、音の高さを変えられます。

1. 身近な楽器（またはコップ）で、ドの音をさがしてみよう。
2. 見つけたドから、レ・ミと順番にさがしてみよう。

This image shows a full page of white paper with horizontal blue ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page, providing a template for writing or drawing. There are no margins, text, or other markings on the paper.

ドレミの英語名（CDEFGAB）

ドレミには、アルファベットの名前もあります。

ドレミ	アルファベット
ド	C
レ	D
ミ	E
ファ	F
ソ	G
ラ	A
シ	B

ポイント

- 英語圏の楽譜やコード表では、CDEFGABの表し方がよく使われます。
- ギターやピアノのコード名も、このアルファベットで書かれます。

やってみよう

1. 「ソ」はアルファベットで何という？ _____

書いて覚えよう

- ピアノの鍵盤には、2つと3つの黒い鍵がくり返し並んでいます。
- 2つの黒い鍵のすぐ左どなりの白い鍵が「ド」です。
- この目印を覚えると、鍵盤のどこからでもドをさがせます。

1. 鍵盤の絵や実物があれば、2つの黒い鍵をさがし、その左の白い鍵を指さしてみよう。

ドから次のドまでの8音の幅

- 低いドと高いドは、名前は同じでも高さがちがいます。
- オクターブはなれた同じ名前の音どうしは、重ねるととてもよく合う響きになります。

1. 低いドと高いドを、続けて声に出してみよう。似た感じがした？

1つとばして、ドレミを歌ってみよう。

ポイント

- やってみよう

- 書いて覚えよう

自分だけのメロディを、ドレミでつくってみよう。

自分だけのメロディを、ドレミでつくってみよう。

やってみよう

1. ド・レ・ミ・ファ・ソの中から、好きな音を4つえらんで並べてみよう。
-
2. 並べた音を、声に出して歌ってみよう。

ポイント

- 音の並べ方に、決まった正解はありません。
- 同じ音を2回使ったり、くり返したりしてもかまいません。

書いて覚えよう

曲のキーによって位置が変わる呼び方

常に同じ高さを指す、決まった呼び方

- 日本語では、決まった高さを指す音名を「ハニホヘトイロ」ともよびます。
- この教材のドレミは、主に階名としてやさしく使っています。

1. 音名の「ハ」は、ドレミでいうとどの音でしょうか。

ドレミの歴史

ドレミには、長い歴史があります。

ポイント

- ドレミという呼び方は、中世のヨーロッパで生まれたといわれています。
- もともとは、ある聖歌の歌詞の一部から取られた音の名前だったと伝えられています。
- 長い時間をかけて、世界中に広まり、今の音楽教育でも使われています。

やってみよう

1. ドレミという呼び方が、どのくらい昔からあるか調べてみよう。

書いて覚えよう

遊びながら、ドレミを定着させよう。

ド

ド

- 最初と最後を「ド」に決めておくと、まとまりのある短い曲になります。
- できた曲に、好きな言葉をつけて歌ってみるのも楽しい方法です。

1. 上の表のあいた部分をうめて、短い曲を完成させよう。
2. 「ドレミカルタ」のように、カードでドレミを覚えるゲームも考えてみよう。

書いて覚えよう

- 毎日少しずつ声に出すことが、いちばんの近道です。
- 手の高さ合わせて覚えると、体でも記憶できます。
- 知っている曲をドレミで歌う練習も、楽しく覚える方法のひとつです。

1. 今日、ドレミファソラシドを3回声に出してみよう。

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

1人でも、みんなでもドレミを楽しもう。

A (歌う) ドレミ

B (まねして) ドレミ

A (歌う) _____

B (まねして) _____

A (自由に) _____

B (まねして) _____

ポイント

- A が歌ったドレミを、B ができるだけ正確にまねするゲームです。
- 慣れてきたら、4つ、5つと音を増やしてみましょう。

ワンポイント 音がずれても大丈夫。何度もくり返すうちに、耳と声がだんだん合ってきます。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、上達のサインです。

つまずき

よくあること

音の高さがわからない

似た音で迷う

とばす音がむずかしい

ミからソにうまく飛べない

コツ

こうしてみよう

手の高さで確認する

体で高さを感じる

ゆっくり練習する

少しずつ速さを上げる

ポイント

- 最初はゆっくりでかまいません。正確さを大切にしましょう。
- できたところから、少しずつ増やしていきましょう。

やってみよう

1. あなたがドレミでつまずきやすいことは？ _____
2. 上のコツから、1つえらんで試してみよう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

ドレミの基本

☐ 音階

ドレミを順番に並べたもの

☐ オクターブ

ドから次のドまでの幅

☐ 半音・全音

音と音の間の距離

表し方

☐ ハンドサイン

手の高さで表す方法

☐ 階名

曲によって位置が変わる呼び方

☐ 音名

常に同じ高さを指す呼び方

英語とアルファベット

☐ CDEFGAB

ドレミの英語での呼び方

☐ C

ドにあたる音

☐ G

ソにあたる音

楽しみ方

☐ 聴音

聴いてドレミで答える練習

☐ メロディづくり

ドレミを並べてつくる

☐ ドレミの歴史

中世ヨーロッパが起源

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。ドレミを知ると、音楽の理解がぐっと深まります。

書いて覚えよう

「ドレミファソラシド」を1回歌う

好きな曲をドレミで歌ってみる

声を出してドレミの音階を歌う

鍵盤（アプリでも可）でドをさがす

手の高さでドレミを表しながら歌う

家族とドレミの聴音ゲームをする

- 1回5分でも、毎日続けることが上達の近道です。
- 声を出すときは、のどをいたわりながら楽しみましょう。

発表してみよう・感想を書こう

つくったメロディを、人に伝えてみよう。

つくったメロディ

使った音

むずかしかったところ

聴いてほしい人

Emma の例

つくったメロディ ドミソドソミド／使った音 ド・ミ・ソ／むずかしかったところ とばして歌うところ／聴いてほしい人 家族

感想を3文で書こう

① ドレミを学んで、～と感じました。② とくに、～がむずかしかったです。③ 次は、～に挑戦してみたいです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

ドレミの世界は、まだまだ広がります。

もっと知りたい人へ

鍵盤で

実際にドレミをひいてみる

楽譜で

音符の位置とドレミを見くらべる

次のステップ

楽譜

五線と音符の読み方

音符と休符

音の長さの種類

声を出す

歌い方の基本

ポイント

- この教材の次は「楽譜の読み方入門」。ドレミを楽譜の上で読む練習をします。

書いて覚えよう

ドレミファソラシドを1回通して歌う

身近な楽器で**ドの音**をさがす

好きな4音で**短いメロディ**をつくる

L33 (例) ドレミは、音の高さにつけられた名前。ドからドまでの8音を音階という。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。